



特集 まるっと周遊 歴史的建造物を中心市街地へ

大正ロマンのまちづくり

中心市街地の活性化に向け、市は市役所が入る複合施設「テラス沼田」の周辺で、歴史的建造物を核としたまちづくりを進めています。国登録有形文化財の旧土岐家住宅洋館などを移築・集約し、大正ロマンをイメージした街並みを整備して魅力を創出します。

問合せ 都市計画課街なか対策室☎内線4125、文化財保護課文化財保護係☎内線2602

街並み整備し魅力創出

大正ロマンをテーマに整備を進めているのは、テラス沼田などが並ぶ本町通り上之町周辺エリア。今春、最後の沼田藩主の子である土岐章子爵が建てた旧土岐家住宅洋館が、沼田公園から移築を終えています。年内には、大正時代に建てられた旧沼田教会記念会堂の移築も完了し、名誉市民で沼田公園を整備した久米民之助（1861〜1931年）の旧邸宅を東京都渋谷区から移築することも決定しました。

旧久米邸は、歴史的建造物として評価され、1912年ごろの建築といわれています。建物が解体される予定となり、地元住民や専門家らでつくる保存プロジェクトからの働きかけなどを通して、移築を決定しました。整備費用については、ふるさと納税の仕組みを活用し、移築にかかる資金を募るクラウドファンディングを12月末まで行っています。



市に移築が決まった旧久米邸（東京都渋谷区）